

Microsoft® Windows® Server 2003,
Enterprise Edition、HP Integrityサーバ
rx5670/rx4640/rx2600
システムに関する重要情報



2004年3月（第2版）
製品番号 357856-192

© 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Intel、インテルおよびItaniumはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、そのままの状態を提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品に対する保証については、当該製品の保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。

本書で取り扱っているコンピュータ ソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HPから使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211および12.212に従って、商業用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェア資料、および商業用製品の技術データは、ベンダ標準の商業用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

Microsoft Windows Server 2003, Enterprise Edition、HP Integrityサーバrx5670/rx4640/rx2600システムに関する重要情報

2004年3月（第2版）

製品番号 357856-192

目次

I. Windows Server 2003, Enterprise Edition搭載 HP Integrityサーバに関する一般的な問題	5
HP IntegrityサーバにインストールされるWindowsについての、 最新情報およびアップデートを確認するには、以下の手順に従ってください	5
システム起動時のブランク画面	5
HDDのステータス/障害LEDインジケータがない	5
ターミナルサーバをインストールしているシステムで、 Smart Setupを使用してソフトウェアをインストールした後、Low Virtual Memoryエラーが発生する	6
システムでハードディスクの追加/取り外しを行っても、EFIがすぐには認識しない	6
Windows Server 2003日本語版に接続するための、ターミナルエミュレータの設定手順	6
896および1010 SCSIコントローラを搭載するシステム上でEFIコマンドのdrvcfg -fおよびdrvcfg -sが 失敗することにより、HP Integrityサーバがハングする	8
インストール対象ではないブートコントローラに接続されたドライブにWindows OSがインストールされる	8
Microsoft ntbackup.exeのアップデート (Windows Server 2003ファミリ)	8
分割バス構成のStorageWorks Modular Smart Array 30 (パワー サプライを1台搭載)を特定のSmartアレイ コントローラに接続すると、エラーが報告され論理ボリュームが機能しなくなる場合がある	9
Adobe Reader 6.0がWindows Server 2003でサポートされない	9
HP Integrity rx2600/rx4640 APC SmartUPSセットアップの問題 [コントロールパネル]の電源制御プログラムにUPSを使用して動作しているように 表示されていても、UPSがまったく機能しない	10
ファイバGigabit Ethernetの切断に関する警告メッセージ	10
HP Integrity rx4640用コア ネットワーク インタフェース カード (NIC)	11
ネットワーク ケーブルを接続しないでシステムを起動すると、 システム イベント ログにエラーが記録される	11
カーネル メモリ ダンプが正常に生成されるようにするための必須手順	11
応答しないシステムでダンプを作成する	12
再インストール用メディアを使用するときに16GBオプションを使用しない	13
システム リストア メディアとページ ファイル	13
II. Windows Server 2003, Enterprise Edition搭載HP Integrity rx2600に関する一般的な問題 ..	14
EFIコマンドのreconnect -rによりシステム ステータス ライトが赤色に変わる	14
PCIスロット2および3のSCSIケーブルによる制約 (制限されているI/Oカード)	14
U320 SCSIハードディスク ドライブを使用するには、最新バージョンのファームウェアが必要である	14
Smartアレイ 53xxカードをHP Integrity rx2600のPCIスロット0または3に挿入できない	15
複数のSCSIイベント (イベント11およびイベント15) がWindowsのイベント ログに記録される	15

III. Windows Server 2003, Enterprise Edition搭載	
HP Integrity rx5670/rx2600に関する一般的な問題	16
故障したドライブを交換しても、Smartアレイ530x/640xコントローラが、 内蔵HDDアレイの自動再構築を行わない.....	16
Smartアレイ5302/5304を、ヘッドレス接続経由でブートコントローラとして設定する際の問題.....	16
整合性チェックの後、Smartアレイ5302/5304のイベントログ警告が記録される.....	17
イベントログでのSmartアレイ5302/5304タイムアウト（イベントID 9）.....	17
NICケーブルは抜いたままにしないでください.....	17
IV. Windows Server 2003, Enterprise Edition搭載HP Integrity rx4640に関する一般的な問題 ..	17
HP Integrity rx4640に関するホットプラグのサポート.....	17
Microsoft Terminal Serverを使用したセキュアパスV4.0Cのインストール.....	18
Smartアレイ6402のSCSIバス障害により、転送速度がU320から減速する（イベントID 24683）.....	18
V. EFIに関する補足情報	18

I. Windows Server 2003, Enterprise Edition搭載HP Integrityサーバに関する一般的な問題

HP IntegrityサーバにインストールされるWindowsについての、最新情報およびアップデートを確認するには、以下の手順に従ってください

1. HPのWebサイト<http://www.hp.com/support/itaniumservers/>（英語）にアクセスします。
2. ご使用のサーバモデル番号の[HP Integrity]をクリックします。

注：ファームウェアおよびドライバは最新バージョンにアップデートすることを強くおすすめします。システムに現在搭載されているファームウェアバージョンを確認するには、EFIシェルで**info fw**とタイプします。

システム起動時のブランク画面

問題：システム起動時に、3～8分間（実際の時間は、取り付けられているシステムメモリの容量により異なります）、画面に何も表示されなくなることがあります。

対策：これは、正常な動作です。リモートターミナルを経由することにより、システムに電源を投入して数秒以内にシステム動作を監視できます。

HDDのステータス/障害LEDインジケータがない

問題：システムのHDDバックプレーンには、内蔵HDDのステータス/障害LEDを制御する管理機能はありません。内蔵HDDで障害が発生した場合、ユーザがLEDインジケータを利用して、障害が発生したドライブを正しく特定することはできません。

対策：HDD障害についてMicrosoft OSのイベントエラーが生成されている場合は、ディスクマネージャを使用して、障害の発生したHDDのSCSI IDを確認する必要があります。SCSI IDを使用して、システム内の障害の発生したドライブの位置を確認し、必要に応じて、HDDを交換してください。

ターミナル サーバをインストールしているシステムで、Smart Setupを使用してソフトウェアをインストールした後、Low Virtual Memoryエラーが発生する

問題：システムにターミナル サーバがインストールされている場合、マネジメント エージェントまたはインストール完了後に再起動が必要な別のアプリケーションをインストールしたとき、この問題が発生します。ユーザは、インストールが正常に完了した後、システムをただちに再起動することも、後で再起動することもできます。ただちに再起動を行うオプションを選択した場合、システムはログオフ段階でハングし、数分後、Low Virtual Memoryエラーが表示されます。

対策：

1. インストールが完了したら、再起動を後で行うオプションを選択します。
2. Smart Setupウィンドウを閉じ、[スタート]メニューから、[シャットダウン]、[再起動]の順にクリックしてシステムを再起動します。

システムでハードディスクの追加/取り外しを行っても、EFIがすぐには認識しない

問題：システムでハードディスクの追加/取り外しを行っても、EFIは、すぐには認識しません。

対策：EFI Boot ManagerでEBSUを起動しているときハードディスクを取り外すと、一部の機能でそのハードディスクが存在しているという誤った報告が行われることがありますが、ディスクの操作は失敗します。ドライブを再挿入すると、操作は正常に実行されます。EFIおよびEBSUを最適に動作させるには、すぐあとにEFIシェルでreconnect -rコマンドやmap -rコマンドを実行する場合を除いて、ドライブの取り外しや挿入は行わないでください。

Windows Server 2003日本語版に接続するための、ターミナル エミュレータの設定手順

問題：Windows Server 2003日本語版を実行するターミナルエミュレータへの接続時に問題が発生します。

対策：

1. クライアントのオペレーティング システムがWindows Server 2003日本語版の場合

HyperTerminalの設定において、[エミュレーション]で[VT-UTF8]が選択されていることおよび[MS明朝]フォントが選択されていることを確認します。

2. クライアントのオペレーティング システムがWindows Server 2003英語版の場合

以下の手順を実行して、言語と地域設定を日本語に変更し、HyperTerminalで使用するフォントを変更して、正しい表示が行われるようにします。

- a. クライアント システムで、[Control Panel]の[Regional and Language Options]設定を日本語の地域と言語に変更します。
- b. [Control Panel]の[Regional and Language Options]設定の[Languages]タブで、[Install files for East Asian Languages]を選択します。

-
- c. [Regional Options]タブで[Japanese]を選択します。
 - d. [Advanced]タブの[Language for Non-Unicode Programs]セクションで[Japanese]を選択し、[10001 (MAC - Japanese)]の横にチェックマークを入れます。変更を有効にするために、再起動する必要があります。
 - e. 再起動後、HyperTerminalを実行して、[Emulation]で[VT-UTF8]および[MS Mincho]フォントを選択します。

注： Windows 2003日本語版ターミナルに接続する場合、VT-UTF8エミュレーションがサポートされているターミナルを必要とします。

クライアントのオペレーティング システムがWindows英語版の場合は、一般的に[Control Panel]の言語の設定で日本語を選択する必要があります。詳しい設定方法については、各オペレーティング システムのオンライン ヘルプおよびお使いのエミュレータの情報を参照してください。このとき、使用するエミュレータは日本語に対応可能なものである必要があります。

Windows Server 2000英語版および日本語版（または言語表示なし）のHyperTerminalは、VT-UTF8エミュレーションをサポートしていないため、エミュレータとしては使用できません。

クライアントのオペレーティング システムがWindows日本語版の場合は、[コントロール パネル]の言語の設定で日本語が選択されていることを確認し、日本語に対応可能なエミュレータを使用する必要があります。

注： Smart Setupメディアに収録されているターミナル エミレータ PuTTY.exeは、日本語をサポートしていません。

896および1010 SCSIコントローラを搭載するシステム上でEFIコマンドのdrvcfg -fおよびdrvcfg -sが失敗することにより、HP Integrityサーバがハングする

問題：896および1010 SCSIコントローラで、drvcfg -fおよびdrvcfg -sが失敗するという問題があります。システムは、いっさい動作することなくハングします。これは、HP Integrityサーバの現在の内蔵SCSI EFIドライバ（ドライババージョン1.02.00）の既知の問題です。

対策：この問題を修正するには、ファームウェアをバージョン1.03.01以上にフラッシュしてください。これはSmart Setup上またはHPのWebサイト<http://www.hp.com/support/itaniumservers/>（英語）で入手できます。

インストール対象ではないブートコントローラに接続されたドライブにWindows OSがインストールされる

問題：Windows OSのインストールは、対象のブートコントローラのみが取り付けられている状態でサポートされます。これは、Windows OSの既知の制限です。

対策：Windows OSをインストールする前に、対象のブートコントローラ以外のブートコントローラをすべて取り外してください。取り外したデバイスの取り付け位置をメモして、OSのインストール後に取り付けなおす際に参照してください。

Microsoft ntbackup.exeのアップデート（Windows Server 2003ファミリ）

問題：バックアップ時に、Windowsの組み込みテープバックアップユーティリティ（ntbackup.exe）に問題が発生して、バックアップが失敗することがあります。

対策：この問題を解決するには、HP Smart Setupメディアに収録されている修正プログラムを適用します。この修正プログラム（Q817688）は、Microsoft社から提供されています。この修正プログラムは、上記の「問題」の項で説明した問題を修正することだけを目的としています。修正プログラムは、この問題が発生しているシステムにのみ適用してください。

注：現時点では、バックアップ時のテープスパンニングはサポートされません。Microsoft社は、この問題を確認しており、解決に取り組んでいます。

分割バス構成のStorageWorks Modular Smart Array 30（パワー サプライを1台搭載）を特定のSmartアレイ コントローラに接続すると、エラーが報告され論理ボリュームが機能しなくなる場合がある

問題：デュアル バス構成のStorageWorks Modular Smart Array 30（Ultra3デュアル バスI/Oモジュールおよび1台のパワーサプライを搭載）は、特定のSmartアレイ コントローラに接続されると、エラーを報告し、論理ボリュームが機能しない場合があります。StorageWorks Modular Smart Array 30のポートAは、ドライブが交換されていない場合でも、下側のベイ（ポートA、ベイ1～7）に取り付けられているすべてのドライブがホットプラグ リプレースされたという報告を断続的に行うことがあります。この結果、アレイ コントローラが論理ドライブの機能を停止するため、データにアクセスできなくなることがあります。また、そのドライブからオペレーティング システムが実行されている場合は、サーバがハングしたりブルー スクリーンを表示したりすることがあります。サーバを再起動すると、ドライブは正常に動作するよう見えますが、一部のデータにアクセスできなくなる場合があります。電源投入時セルフテスト（POST）エラー メッセージは表示されません。この問題は、エンクロージャ内のパワー サプライやファンの位置に関わらず発生します。この問題は、Smartアレイ 5302またはSmartアレイ 5304コントローラに接続されたデュアル バス構成のStorageWorksエンクロージャ モデル4314R、モデル4314T、またはモデル4354R（Ultra3デュアル バスI/Oモジュールおよび1台のパワー サプライを搭載）に影響します。

対策：StorageWorksエンクロージャは、2台以上のパワー サプライで動作させてください。

Adobe Reader 6.0がWindows Server 2003でサポートされない

問題：Adobe社のWebサイトからAdobe Reader 6.0をダウンロードしようとしても、使用できるプラットフォームのリストでWindows Server 2003 OSが見つかりません。

対策：Adobe社の[テキスト表示のみのダウンロード ページ]からAdobe Readerをダウンロードしてください。これにより、Adobe ReaderをWindowsの通常の方法でインストールできます。HP Integrity rx2600およびrx5670では、バージョン5.5以下を使用することをおすすめします。

HP Integrity rx2600/rx4640 APC SmartUPSセットアップの問題

問題：Windows Server 2003でAPC SmartUPSをセットアップする際に、UPSのコントロール パネル アプレットを使用してレジストリをアップデートしCOM3がUPSポートとして使用されるよう設定することができない場合があります。HPはMicrosoft社と協力してこの問題の解決に取り組んでいます。

注：MPシリアル ドライバのバージョン5.00.15以降を使用していることを確認してください。このドライバは、HP Smart Setupメディアに収録されています。

対策：Windows Server 2003でUPSを正しくセットアップするには、以下の手順に従ってください。

1. [スタート]メニューをクリックします。
2. [設定]、[コントロール パネル]の順に選択します。

-
3. [電源オプション]をダブルクリックします。
 4. [UPS]タブを選択します。
 5. [詳細]セクションで、[選択]を選択します。
 6. [製造元の選択]ドロップダウン ボックスで、[American Power Conversion]を選択します。
 7. [モデルの選択]ウィンドウで、[Smart-UPS]を選択します（該当するUPSを選択してください）。
 8. [ポート]ドロップダウン ボックスで、[COM3]を選択してクリックします（必ず、[COM3]をクリックしてください）。
 9. [完了]をクリックします。
 10. [詳細]セクションで、[構成]をクリックします。
希望する設定を選択します。
 11. [適用]をクリックして、UPSに接続されるまで数秒待ちます。
 12. [状態]セクションで、UPSに関する次の表示が選択されていることを確認します。
 - a. [UPSの推定稼働時間]
 - b. [UPSの推定容量]
 - c. [バッテリーの状態]
 13. [OK]をクリックして、セットアップを終了します。
ここで、UPSが正しく動作するかどうかをテストできます。

[コントロールパネル]の電源制御プログラムにUPSを使用して動作しているように表示されていても、UPSがまったく機能しない

問題：MPシリアル ドライバが、NULLキャラクタをデータ ストリームに挿入しているため、電源制御プログラムが誤作動しています。正常に機能しているように見えますが、実際は機能していません。このことは、[コントロール パネル]のUPSの電源制御プログラムの[Estimated UPS runtime]および[Estimated UPS capacity]をチェックすることにより確認できます。両方の項目にデータが表示されていなければなりません。グレー表示されている場合は、プログラムがUPSのシリアル ポートと通信していません。

対策：MPシリアル ドライバのバージョン5.0.0.15以上をインストールしてください。エラー修正を実行するアプリケーションには影響しない場合があります。

ファイバGigabit Ethernetの切断に関する警告メッセージ

問題：電源投入時にシステム イベント ビューアに表示されるイベントID：4（ソースがb57ndまたはe1000の警告メッセージ）は、A7073AおよびA9899Aによる自動ネゴシエーションの実行方法によるものです。

対策：警告に続いて、その特定の接続の「リンク確立」を示す情報メッセージ（イベントID：11）が、イベント ビューアに表示されることを確認してください。

HP Integrity rx4640用コア ネットワーク インタフェース カード (NIC)

HP AB352Aは、HP Integrity rx4640サーバ上のコアNICです。このアダプタは、PCI-X、133/66MHzカードであり、PCIスロット2のみでサポートされます。このアダプタは、スロット2のポートA（下位ポート）からのWake on LAN（WoL）機能を装備していますが、システムの一部の制限により、AB352-60001をスロット3～8に移動すると、システムの電源投入時に問題が発生する場合があります。

ネットワーク ケーブルを接続しないでシステムを起動すると、システム イベント ログにエラーが記録される

問題：ネットワーク カードにLANケーブルを接続しないでシステムを起動すると、HP Insight NICエージェント サービスにより、システム イベント ログにエラーが記録されます。これは、ネットワーク接続がサービスによって検出されなかったためです。サービスは、ケーブルの接続不良とケーブル自体の不良とを区別できません。また、システム イベント ログにエラーが記録されると、システムのフロントパネルにあるアテンションLEDが点滅を開始します。

対策：ケーブルの接続を確認してください。ケーブルを意図的に接続しない場合は、エラーを無視してください。NICケーブルは抜いたままにしないでください。

カーネル メモリ ダンプが正常に生成されるようにするための必須手順

Windowsでは、ページ ファイルの自動管理が可能ですが、大容量メモリ構成のシステムでは、この機能をサポートするために、ユーザが希望する以上のディスク スペースを割り当てなければなりません。カーネル メモリ ダンプにより、システムの障害をデバッグする高度な機能が提供されます。管理者は、ページ ファイルのサイズを20GB以上に設定して、システム障害発生時にカーネル メモリ ダンプが正常に生成されるようにする必要があります。カーネル メモリ ダンプ用の20GBのページ ファイルは、すべてWindowsのシステム ボリュームだけに配置してください。他のページ ファイルは、他のボリューム上でも設定できますが、システム ボリューム上に、必ず、20GB以上のページ ファイルを配置してください。ページファイルサイズを増やすには、以下の手順に従ってください。

1. [システムのプロパティ]を開き、[詳細設定]タブを選択し、[パフォーマンス オプション]フレームに移動します。
2. [詳細設定]タブを選択します。
3. [仮想メモリ]の[変更]をクリックします。
4. [ドライブ]の下で、ページファイルを配置するボリュームを選択します。
5. [選択したドライブのページング ファイル サイズ]の[システム管理サイズ]または[カスタム サイズ]を選択します。[システム管理サイズ]を選択すると、Windowsがページ ファイルを推奨サイズに設定します。このサイズが大きすぎる場合は、[カスタム サイズ]を選択して、サイズを20GBに設定してください。
6. 表示されているページで[OK]をクリックし、以降のプロパティ ページでも[OK]をクリックします。

-
7. [起動と回復]の[設定]をクリックします。
 8. [デバッグ情報の書き込み]で[カーネル メモリ ダンプ]を選択します。
 9. 表示されているページで[OK]をクリックし、以降のプロパティ ページでも[OK]をクリックします。
また、Windowsでは、システムの再起動後にページ ファイルのダンプをクリアしてディスク上の別のファイルに移します。十分に格納できる保存スペースのある場所に、最終ダンプ (memory.dump) を書き込めるようにすることが重要です。このファイルは、いずれのディスクにも書き込むことができます。

最終ダンプ ファイルの場所を表示または変更するには、以下の手順に従ってください。

1. [マイ コンピュータ]を右クリックしてから、[プロパティ]をクリックします。
2. [詳細設定]タブを選択し、[起動と回復]の[設定]をクリックします。
3. [デバッグ情報の書き込み]で、下側のテキスト ボックスの[ダンプ ファイル]を設定します。
4. 20GBの空きスペースのある場所を選択します（これは大量のメモリ ダンプを格納するのに十分です）。

最後に、Microsoft QFE 822998をインストールする必要があります。これは、Microsoft社のWebサイトにある [diskdump.sys](http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;en-us;822998&Product=winsvr2003) に関する QFE (<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;en-us;822998&Product=winsvr2003>) で入手できます。

応答しないシステムでダンプを作成する

この処置を実行するCEには、慎重な作業が求められます。慎重に作業を進めないと、システム障害が発生して、ソフト リセットが必要になります。システムが応答しない場合、以下のいずれかの方法を使用して、カーネル メモリ ダンプを作成できます。

1. SACの **crashdump** コマンドを使用します。SACプロンプトで **crashdump** とタイプします。SACの画面が更新され、致命的なシステム エラー「0x000000E2 - Manually Initiated Crash」が表示され、物理メモリのダンプを作成中であることが示されます。特定の状況で、別のバグコード「0x0000000A - IRQL_NOT_LESS_OR_EQUAL」がCEによって表示されることがあります。これは既知の問題であり、この場合でも有効なクラッシュ ダンプが作成されています。
2. MPを使用して、cmを入力しコマンド メニューを起動します。ダンプを開始するには、tcコマンドを使用します。SACの画面が更新され、致命的なシステム エラー「0x000000E2 - Manually Initiated Crash」が表示され、物理メモリのダンプを作成中であることが示されます。

再インストール用メディアを使用するときに16GBオプションを使用しない

システムパーティションは、32GB以上のディスクドライブで構築する必要があります。再インストール用メディアを使用する場合、管理者およびCEは、システムボリュームを構成する際に32GBまたは最大ドライブサイズのオプションを使用する必要があります。ページファイルサイズを後になって手動で設定しない限り、16GBオプションを使用すると、システム障害の際にカーネルメモリダンプを作成できなくなります。さらに、16GBオプションを使用する場合にページファイルサイズを手動設定すると、ページファイルサイズは最小推奨サイズの20GBより少なくなります。

システム リストア メディアとページ ファイル

問題：ページファイルサイズを後になって手動で設定しない限り、16GBオプションを使用すると、システム障害の際にカーネルメモリダンプを作成できなくなります。

対策：システムパーティションは、32GB以上のディスクドライブで構築する必要があります。再インストール用メディアを使用する場合、管理者およびCEは、システムボリュームを構成する際に32GBまたは最大ドライブサイズのオプションを使用する必要があります。さらに、16GBオプションを使用する場合にページファイルサイズを手動設定すると、ページファイルサイズは最小推奨サイズの20GBより少なくなります。

II. Windows Server 2003, Enterprise Edition搭載HP Integrity rx2600に関する一般的な問題

EFIコマンドのreconnect -rによりシステム ステータス ライトが赤色に変わる

問題：システムに3台以上のUSBデバイスが接続されている場合、EFIコマンドのreconnect -rを実行すると、システムのステータス ライトが赤色に変わります（これにより、BMCログにレベル7メッセージが生成されます）。

対策：BMCログをクリアして、システムを再起動してください。

PCIスロット2および3のSCSIケーブルによる制約（制限されているI/Oカード）

問題：SCSIケーブルに制約があるため、HP Integrity rx2600のPCIスロット2および3では、次のI/Oカードはサポートされません。

A7060A Dual Port U160 SCSI
A7059A Single Port U160 SCSI
P7749A NetRAID 2M
A9825A SA5302
A9826A SA5304

スロット1を使用できない場合、サポートされるカードの総数は最大3枚に（任意の組み合わせで）なります。

対策：別のスロットを使用してください。

U320 SCSIハードディスク ドライブを使用するには、最新バージョンのファームウェアが必要である

U320 SCSIの動作モードをサポートするには、システム ファームウェアに組み込まれるSCSIコントローラ ファームウェアのバージョンが1.80以降でなければなりません。以前のファームウェア リリースでは、U160 SCSIまでのSCSI接続速度はサポートされますが、それ以上の速度はサポートされません。現在、システムに搭載されているファームウェア バージョンを確認するには、EFIシェル プロンプトでinfo fwとタイプしてください。

HP Integrity rx2600でU320 SCSIドライブに交換するかU320 SCSIドライブを取り付ける場合は、事前にシステム ファームウェアをアップグレードする**必要があります**。システム ファームウェア バージョン1.80以降は、HPのWebサイト<http://www.hp.com/support/titaniumservers/>（英語）からダウンロードできます。



警告：1.80より古いバージョンのシステム ファームウェアでU320 SCSIドライブを使用すると、性能が低下し、システムがハングする可能性があります。これにより、データが消失することもあります。

Smartアレイ 53xxカードをHP Integrity rx2600のPCIスロット0または3に挿入できない

問題： Smartアレイ 53xxカードは、HP Integrity rx2600のPCIスロット0および3には挿入できません。

対策： 対策はありません。機械的制約により、Smartアレイ 53xxシリーズのカードは、HP Integrity rx2600のPCIスロット1および2でのみサポートされます。

複数のSCSIイベント（イベント11およびイベント15）がWindowsのイベント ログに記録される

問題： Windowsにログインするとき、SCSI U320ドライバが複数のSCSIイベント（イベント11およびイベント15）をWindowsのシステム イベント ログに記録することがあります（このログは、Windowsのシステム イベント ビューアを使用して表示できます）。イベント11は、「ドライバは¥Device¥Harddisk0¥DR0でコントローラ エラーを検出しました。」です。イベント15は、「デバイス ¥Device¥Scsi¥Symmpi1はまだアクセスできる状態ではありません。」です。これは、Windows OSが、HDDのキューの深さを超えるI/Oリクエストを発行することが原因で発生します。キューの深さを超えるI/Oリクエストが発行されると、関連付けられたSCSIポートに対して"queue full"応答が発行されます。"queue full"応答が繰り返し発行され、そのHDDの"queue full"スレッショルドに到達すると、イベント ログに記録されます。

注： Windowsログインが完了すると、これらのイベントは発生しなくなります。これらのイベントが、ログイン中に生成された場合は、無視できます。

対策： この問題を修正するには、HPのWebサイト<http://www.hp.com/support/itaniumservers/>（英語）から最新のSCSIドライバをダウンロードしてください。

III. Windows Server 2003, Enterprise Edition搭載HP Integrity rx5670/rx2600に関する一般的な問題

故障したドライブを交換しても、Smartアレイ 530x/640xコントローラが、内蔵HDDアレイの自動再構築を行わない

問題：故障したドライブを交換しても、Smartアレイ 530x/640xコントローラは、内蔵HDDアレイの自動再構築を行いません。HP Integrityサーバのバックプレーンは、HDDがホットプラグ対応手順でシステムに挿入された場合に、Smartアレイ アダプタがHDDを認識するのに必要な管理機能を提供しません。このため、故障したドライブを交換しても、Smartアレイ コントローラは、アレイの自動再構築を行いません。

対策：以下の手順を利用すれば、手動でHDDアレイを検出して再構築できます。

1. HPのWebサイト<http://www.hp.com/support/itaniumservers/>（英語）から、利用可能なSmartアレイの最新ファームウェアをダウンロードしてフラッシュします。

注：SA530xコントローラでは、リビジョンが3.54以降のファームウェアが必要です。SA640xコントローラでは、1.92以降のファームウェアが必要です。

2. HPのWebサイト<http://www.hp.com/support/itaniumservers/>（英語）から、最新のアレイ コンフィギュレーション ユーティリティ (ACU-XE) をダウンロードしてインストールします。ACU-XEのリビジョンは6.42.1.0以降でなければなりません
3. 内蔵HDDアレイが故障した場合、故障した物理ドライブを交換し、ACUユーティリティを開き、[Controller State]フィールドで[Refresh]を選択します。故障したアレイが再構築を開始します。これは必須の手順であり、ACUによって自動的に実行されません。

注：HDD障害は、HP IntegrityエージェントおよびWindowsのシステム イベント ログによっても検出されます。

Smartアレイ 5302/5304を、ヘッドレス接続経由でブート コントローラとして設定する際の問題

問題1：Windows NT4やWindows 2000のTelnetおよびHyperTerminalアプリケーションが、ファンクションキーにASCII文字列を正しくマップしないという問題があります。

対策：リモート コンソールからこれらのアプリケーションを使用して、正しいASCII文字列を送信するには、**Esc**キーを押したすぐ後（1秒以内）に、ファンクション キーの数字を押します。たとえば、**F8**キーに相当するASCII文字列を送信するには、**Esc**キーを押したすぐ後に**8**キーを押します。なお、ターミナルエミュレータがUTF-8に設定されている場合は、**F8**キーを押すことができます。

問題2：電源投入時セルフテスト (POST) の実行中、Smartアレイ ファームウェアは、バナーに加えて、**Esc**キーを押して続行するかまたは**F8**キーを押してコンフィギュレーション ユーティリティを起動するように指示する設定メニューを表示します。リモートのターミナルからヘッドレス構成のシステムを実行している場合、POSTの実行中に、Smartアレイ バナーは、設定メニューを表示しません。

対策：POSTの実行中、コンフィギュレーションユーティリティを起動するには、リモート コンソールにSmartアレイ バナーが表示された後、**Esc**キーを押してすぐに**8**キーを押します。

バナーの例："HP Smart Array 5302-128 Controller (Version 3.32) 1 Logical Drive"

整合性チェックの後、Smartアレイ 5302/5304のイベント ログ警告が記録される

問題：Event Notification ドライバの今回のバージョンは、論理ボリューム上で整合性チェックが行われた後、Windowsのシステム イベント ログに次の「警告」メッセージを報告します。

"The description for Event ID (24607) in Source (CPQCISSE) could not be found. It contains the following insertion string(s):" **Example string**: "¥Device¥CPQCISSE0, 11, Parity/consistency initialization complete, logical drive 0."

対策：これは、ドライバの次のリリースで修正される既知の問題です。実際のメッセージは、整合性チェックの成功を報告する情報メッセージです。

イベント ログでのSmartアレイ 5302/5304タイムアウト（イベントID 9）

問題：I/O負荷が非常に重い状況では、Smartアレイ ドライバ（cpqcissm）が、システムのイベント ログにイベントID 9エラーを生成する場合があります。

対策：現時点では、既知の解決法はありません。この問題により、データが消失することはありません。

NICケーブルは抜いたままにしないでください

NICケーブルが抜いたままになっている場合、HP Insight NICエージェントはエラー メッセージを記録および送信します。

IV. Windows Server 2003, Enterprise Edition搭載HP Integrity rx4640に関する一般的な問題

HP Integrity rx4640に関するホットプラグのサポート

ホットプラグのサポートを有効にするには、バージョンが2.10以降のシステム ファームウェアがインストールされていることを確認してください。古いバージョンのシステム ファームウェアでは、ホットプラグはサポートされません。ホットプラグをサポートするには、最新リビジョンのファームウェアにアップグレードしてください。

Microsoft Terminal Serverを使用したセキュアパスV4.0Cのインストール

Microsoft Terminal Serverを実行するシステムにセキュアパスV4.0Cをインストールする場合は、セキュアパス ソフトウェアに付属のインストール手順（特に、『Installation and Reference Guide』（AA-RL4SG-TE）の20ページにある「changing the Terminal Server from Execution Mode to Installation Mode」）に忠実に従ってください。手順に従わないと、インストールは失敗します。

Smartアレイ6402のSCSIバス障害により、転送速度がU320から減速する (イベントID 24683)

問題： SA6402コントローラからの起動を、SW4454または内蔵HDDエンクロージャに接続されている間に実行すると、システムのイベント ログに、イベントID 24683エラー"SCSI bus fault occurred on Storage Box 0, Port 0 of Array Controller in slot 1, which may result in a "downshift" in the transfer rate for one or more hard drives on the bus."が生成される場合があります。

対策： 現時点では、既知の解決法はありません。この問題により、データが消失することはありません。

V. EFIに関する補足情報

Intel社の提供するEFI情報は、Webサイト<http://www.intel.com/technology/efi/>で入手できます。